

ミツバチについて

◎ ミツバチとは

ミツバチ科

マルハナバチ
250種※

ミツバチ
9種

注※ 文献上記載されている種類

このうち、日本で飼育されているミツバチ



ニホンミツバチ

セイヨウミツバチ

写真提供：一般社団法人日本養蜂協会

出典：「養蜂技術指導手引書」みつばち協議会(H26.3)

ニホンミツバチ と セイヨウミツバチの特徴の比較

	ニホンミツバチ	セイヨウミツバチ
体長	10～13mm	12～14mm
体色	黒褐色系	黄褐色～黒褐色系
1群あたり蜂数	数千～2万匹	2万～4万匹
活動範囲	半径約1km	半径約2km

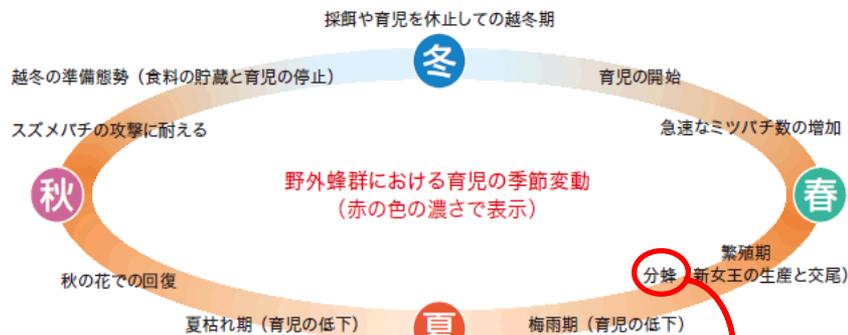
出典：「養蜂技術指導手引書」みつばち協議会(H26.3)

及び「ミツバチ飼育技術」養蜂振興協議会(H26.7) より抜粋

◎ ミツバチの役割

- ・蜂蜜・蜜ろう・ローヤルゼリーなどを生産
- ・イチゴ・メロン等の花粉交配にも貢献

ミツバチのライフサイクル



資料：一般社団法人日本養蜂協会 HPより

<分蜂とは>

1つの蜂群(コロニー)に属する蜂の羽数が一定程度確保できると、新しい女王蜂が誕生することがあります。女王蜂が蜂群内に2匹存在する場合には、旧の女王蜂は約半数の働き蜂を伴って新たな蜂群をつくり、新しい営巣場所を探します。この現象を分蜂といいます。

分蜂後、新たな営巣場所が見つかるまでは、公園の木々や建物に一時的にたくさんの蜂が群れとしてとどまることがあります。

このような分蜂を見かけた場合は、刺激したりせずに、各都道府県(畜産担当部署)にご相談下さい。